

上海香港の道路視察に就て

(承前)

福岡縣土木課長 坂本一平

香 港

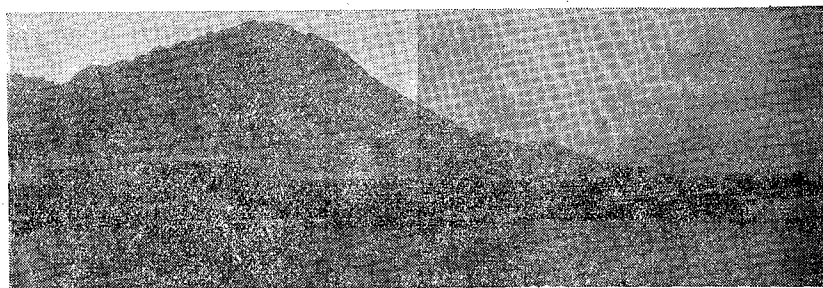
香港の地名の由來

香港の名の起りは本島の南側に小さい瀧があり往昔より

漁舟の飲料水として使用して居たが其の水が餘りに清澄で

あつた爲め香江と呼んで居たそうであるが夫れが後世に到つて香港と呼ぶ様になつたと言ひ又一説には驚港シヤンゴンより香港と轉訛したとも言ひ傳へて居る。

香港が英領となる迄



り よ 灣 し ヤ リ ト ク ビ

今より百約

年前頃は本島は、附近海上に海賊の横行

する徴々たる

一寒村であつ

たことは慥で

ある。然るに

偶廣東の珠江

で阿片事件の

爲め、清國は

英國海軍と數

ヶ月に亘り激

戦をなしたが

その結果英國

の勝利に歸し

彼の南京條約

により、英國は戰捷の代償として香港を永久に手に入れた。

時に一、八四一年續て一、八五六年英佛聯合軍の北京事變

あり其の結果英國は更に九龍島の尖端約四平方哩の土地を

永久に支配する事となつた。

一、八九八年更に英國政府は殖民地防備の必要上九龍半

島の全部と其附近大小島嶼四十餘總括して、三五六平方哩

と外に香港島周圍海面を加へて九十九箇年租借することに

した。

香港の今日あるは

英國が占領當時、即ち本島創設の初期は到る處に毒蛇害

蟲棲息し惡疫風土病猖獗を極め、當時の英國守備隊の如き

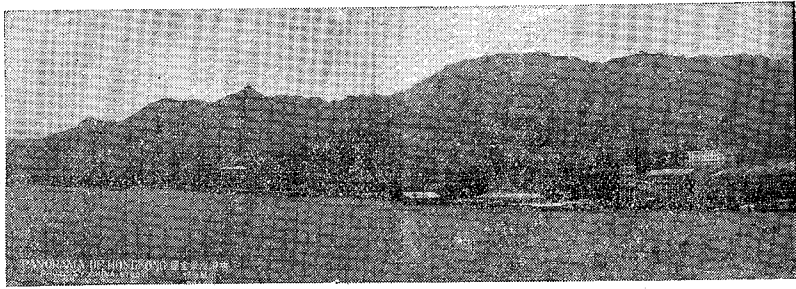
は約四割惡疫の爲めに斃され、在留者を通じて約一割風土

病に浸さるゝなど一時は香港建設放棄論さへ頻りに唱へら

るゝに至りたるが、官民一致して其建設に絶大の努力を拂

つた結果は漁師の繩引場としての砂濱は理立てられ、繫船

岸壁護岸或は棧橋を設け完全な海上運輸交通の良港を備へ



眺 ため る 香 港 市

陸上は勾配の急な山計りの處であつたが山嶺まで開拓し大廈高樓を築き道路、軌道、上水下水等文明都市としてのあらゆる施設を完備せるは蓋し英國政府の殖民政策に對する堅忍不拔の精神に基くものにして、克く建設の美を擧

げ得たるは誠に賞讃する次第である。

尙香港の今日の隆昌を見たるは建設の美を成遂けた許りに基因するに非らず、一つには地の選擇宜敷きを得たると他の一つは英國の香港政策が軍政であつたのを改め、文政を敷き自由港とした事である。爾來香港の發展は著しく促進し全く底知れずの發達を遂げ、現今では獨り英國の東洋に於ける通商貿易殖民地行政の策源地でなく、歐洲と極東間の關門を成し世界的海運の要港となつた。

位置及地勢

香港島——は上海より八五三哩二晝夜行程、門司港より一、一八五哩五晝夜と十時間長崎港より一、〇七〇哩四晝夜半、基隆港より四六六哩三十時間澳門へ三五哩四時間廣東へ八九哩八時間新嘉坡へ一、四三五哩五晝夜行程の地點に在り島の周圍僅かに二七哩面積約三十平方哩、全島殆んど山嶽ばかりで花崗岩より成る其の最高峰を「ヴィクトリア」峯と呼び海拔一、八〇〇呎に達して居る此の山麓西北

より東北方面に亘りて約三平方哩の地帯に人口四十萬以上を抱擁する市街地が建設されてある。北部は九龍半島を経て支那大陸の廣東省に接し東南は浩渺たる支那海に直面する珠江口外に於ける一小島である。

香港の港——は香港島と九龍との海峽約六哩の海岸線を言ふので普通 Victoria Harbour と呼んで居る。九龍の「スレイション」前から本島間は僅に一哩であるが水深の最も大なる處は六〇呎以上で普通の處で二七呎以上岸に近づけばこれより稍淺くなり九龍棧橋附近は約三〇呎本島側で二〇呎乃至三〇呎である。現今普通の汽船の繫留には充分の深度を保持して居る、従て小規模の浚渫を時々行へども大袈裟な浚渫計畫は施行されて居らぬ、本港は所謂天然の良港である。

九龍——とは香港島に相對し九龍半島の尖端約四平方哩の區域にして全體が平坦な處であるが、最近は丘陵等を全部切崩して平地をこしらへて居る九廣鐵道（九龍廣東間）が完成してから此の地は異狀の發達を遂げて來た、近き將

來に於て理想的都市計畫の完成と共に一層膨脹するものと認めらる。

氣候と衛生狀態

氣候は北緯二三度内外の位置に在るを以て臺灣の南端と同緯度に位し、同じく熱帶圏内に屬するが四周海面なれば大陸的影響は稍緩和され、同緯度にある廣東市と比較すると寒暑共に數度以上の差がある。

香港地方は一年を通し好季節は十月頃より十一月頃で、殆んど連日快晴の天候と秋風に見舞はれ氣持のよい時である。

嚴寒期は一、二月頃で六〇度内外であるから假令嚴寒期と雖も中流以下の家では煖爐を用ふるの設備はない。春より七月頃迄は降雨期で特に六月迄は濃霧が多く降雨量も此の時期が最大である。夏期は五月から十月迄冬期は十一月から翌年三月迄で猛暑の頃は八、九月で一日の溫度は大概八〇度乃至九〇度で稀には九五度に達することもある。

衛生状態を語るに當り當地が其以前一大不健康地として

の素質を充分供へて居たことを顧みなければならぬ、即ち

當地の位置と氣候が病菌の醗酵に好適地たるのみならず

自由港なる爲め、あらゆる國々より渡來する無数の大小船

舶に對して完全に檢疫が行渡らない爲めと又當地が家屋稠

密なる上に住民の多數は衛生思想に乏しき支那人である等

の事由から流行病としてペスト、腸チブス、腦脊髓膜炎、

バラチブス、猩紅熱等風土病にはマラリヤ、デング熱、脚

氣、肺結核等實に猛烈なる勢を以て蔓延し居留民を腦まし

た。然るに英國政府の殖民地政策として第一に市街到る處

に完備せる道路と上下水道の施設をなし、各人家の塵芥は

日中に糞尿は夜間人の寢靜まる頃から取集めて汽船にて遠

く港外に廢棄し、道路面は日々工夫の手にて掃かれ其跡を

水で洗淨し年中四回大掃除を敢行せしむる等一面には又市

衛生局は惡疫防遏の爲め國家病院、傳染病院消毒所等をし

て鋭意研究と常住不斷の活動とにより、現今では本島は熱

帯地方に於ける最大健康地として普く知らるゝ様になつた

是は全く當局の努力の賜である。

住民と人口

流石に殖民地であるだけに黄、白、褐、黒の世界人種が包容されて居る。然しながら人口の九割八分迄は支那人である。本島占領當時は居住民は僅かに四千人位であつたが年々非常なる増加率を以て進み最近の調査では六十二萬人を超過して居る。其の分布状態を示せば

香 港 島 三四七、四〇〇人

九 龍 島 一二三、五〇〇人

北部新租借地 六六、一〇〇人

南部新租借地 一七、〇〇〇人

水上生活者 七一、二〇〇人

總 計 六二六、二〇〇人

此の内 歐洲人 一〇、五〇〇人(英國外十八ヶ國)

亞米利加人 五四八人(米國外七ヶ國)

亞細亞人(支那を除きて) 一、八三四人(日本外五ヶ國)

日本人で香港島移任の先驅者は英國政府が香港占領の四

年後即ち

我が弘化

二年當時

東洋の商

權を握つ

て居た葡

領澳門よ

り此の新

開地に移

住した邦

人漂流者

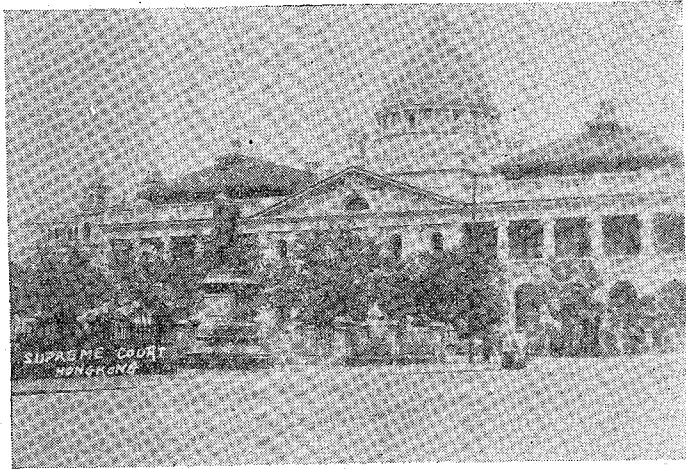
四名であ

る。然る

に明治八

年頃には

在留者十三名となり同十五年頃より漸次増加して日清戦争



CHATER ROAD

當時には二〇六名日露役の際は既に六〇〇名となり大正十二年の總領事調査では一、七五〇名を算した。

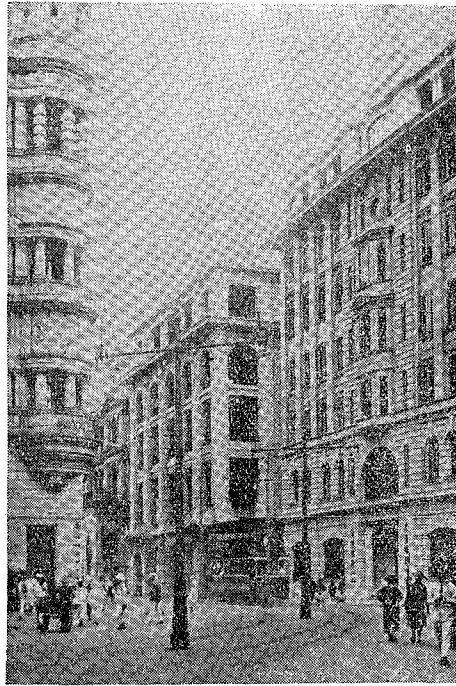
本島は上海と同様支那人にとりては安全地帯であるから廣東方面に動亂の起る毎に本島へ避難するもの夥しく現在人口は百萬人に達すと言ふ。

香港の道路

香港市の道路は英國人が殖民地に對する努力と成功の有様を物語り得る好個の記念である。特に街路は政廳の最も意を注ぎたるもので東洋各港中最も完備して居る。其の規模の整然たるは我々日本人にして初めて見學するものにとりては大なる驚異の念を起さざるを得ない。市街家屋皆歐羅巴式で四層乃至十層の大廈高樓巍然林立せる態は街路整然の美と共に全く壯觀である。

市街地はヴィクトリア市、灣仔及ハッピーバレーに區分されて、ピクトリヤ市は延長五哩市中央部最廣半哩最狹の個所では三百碼位であるが此の地區が最も繁華で香港の代表

的市街地である。而して道路は三條の大幹線道路を畫き其海岸線をコンノウト、ロード、中央大路を德輔道、山側を皇太后大通りと呼ぶ。この三大幹線を横過りて海岸に向つ



て幾多の街路が排列されてある。

此の地域の舗装は大體高級舗装であるが、最近修繕又は改築の箇所を實見するに稍々簡易の舗装を施して居る、幅員は中央車道十間以上を保つて兩側に必ず停仔脚と稱へて

商店の建築の車道側の一部が最小幅員十二尺を歩道として利用して居る所は、全く歐米の市街地と同じ外觀を呈して居る。

以上三大幹線又は此の間の横町沿の各種大會社商店に集合する自動車如きは街路の中央一定の港區域に「ホワイト・ライン」にて鮮明な標識が出市來て其所に駐車することになつて居るから一般の交通に何等支障の起らぬ様になつて居る。

と 交通整理の如きも上海ほど各種の交通者が複雑を極めることはないけれども、多くの場合は雲を仔衝く様な印度人が巧妙な整理振りを示せることは脚上海と變りはない。

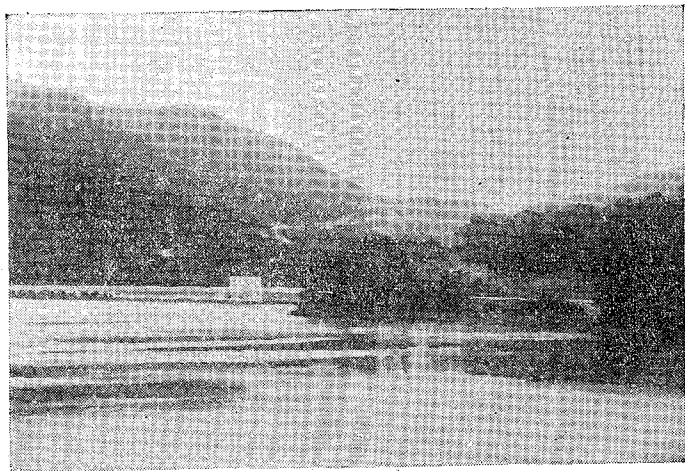
ピーク、ドライヴ、ウエー

香港に上陸すれば第一番の見物は香港島を一週して「ピーク」頂上の眺望を試みるにある。この「ピーク」の頂上に達するには「ピーク、ドライヴ、ウエー」なる全島周遊

自動車道路がある（直接ピーク山頂に達するケーブル、カーあり後に説明する）之は幅員は三、四間廣い處で六間位の處もあるが道路狭くて急「カーヴ」の處又は單に急勾配の處には鋪裝路面の中央に「カーヴ」なりに「ホワイト・ライン」一條を畫き其前後の路側に危険防止の要領の良い「シグナル」を樹てゝある。多くは橋梁の高欄を利用するとか切取法面を利用してある。此の「ドライヴウェイ」の路線の位置や勾配の選定に就ては當局が少なからざる苦心を拂はれた價値あるものと認め得る。

ドライヴを試みるには、先づ東方よりすれば銅鑼灣より海岸宵箕灣路を直進し、左手に太古船渠を右手に同社の空中「ケーブル、カー」を一瞥し「バーカー」路より山道にかゝり、九十九折せる峽路を曲折して深水灣に出て、更に大潭貯水池（香港水道水源地の最大なるもの）更に進んで香港ホテル別荘地有名なる海水浴場「レブルス、ベイ」又は「アバーデン」「デリーファーム」の牧場等を指顧の間に驅馳して頂上に達することを得、此の間里程廿五哩時間に

して一時間半足らずである、勿論、此の道路は全部簡易に



ブ、ウェー」の終點から約十町で其の高差は五百尺位であ

- 「アスフ
- アルト」
- 鋪裝であ
- るが手入
- 大
- れの行届
- 潭
- いて居る
- ことは誠
- 貯
- に感服の
- 至りであ
- 水
- る。
- 「ビクト
- 池
- リヤ・ピ
- ーク」の
- 山頂は
- 「ドライ

る、多くの遊覧客は人力車が香港獨特の橋を利用して居る吾人は此の間の歩道として、極めて輕易の鋪裝道路を見學しつゝ、一汗を出して、途中幾回となく展望變化の妙に魅せられつゝ、山頂に達したのである。

頂上の眺望は東北一帯は「ピクトリヤ」灣に面し、九龍と相對する香港中心市街の立體的建築美の整頓、港灣の壯大さを眼下一眸に集め眸を轉じて西南を展望すれば「レブルス・ベイ」を隔てゝ遠く澳島の彼方に夕陽の没せんとする光景は覺えず快哉を叫ばしめたのである。

吾人が此の「ヴィクトリヤ・ピーク」へ「ドライブ」を試みたのは四月十二日であつた。當日は我帝國海軍第一艦隊の軍艦扶桑、陸奥、長門、天龍外二十四隻の水雷驅逐艇入港碇泊され、英國艦隊も多數其純白な勇姿を現はして靜かな「ヴィクトリヤ・ベイ」に帝國艦隊を歡迎せる壯絶な風景は他國の空に旅行の途にある、吾人は友邦の大英國に敬意を表すると共に一面何となく心丈夫な感にうたれた。

道路鋪裝の種類

香港島内の道路は、到る處鋪裝を施さざるは無いのである、只其交通の量、その重量、其外市街の仕格又は目的如何に依りて高級鋪裝乃至簡易鋪裝を施行してある。

香港に於て施行せしもの及現に施行中の鋪裝の種類は大體左の六種である。

- 一 「アスファルト・マカダム」道
- 二 「アスファルト・コンクリート」道
- 三 「シートアスファルト」道
- 四 路面「アスファルト」處理
- 五、水締「マカダム」道
- 六 「ターマカダム」道

(香港市の鋪裝道路の構造に就ては同行の山本技師が精細なる報告をすることになつて居るから茲には専ら概論的の事のみを述べることにする)

香港は全島皆花崗岩質で鋪裝道路として誂え向の地質を備へて居る、其の高級鋪裝の基礎の如きは六吋乃至十二吋の厚さの古砂利又は碎石(花崗岩)を使用し、十噸以上の

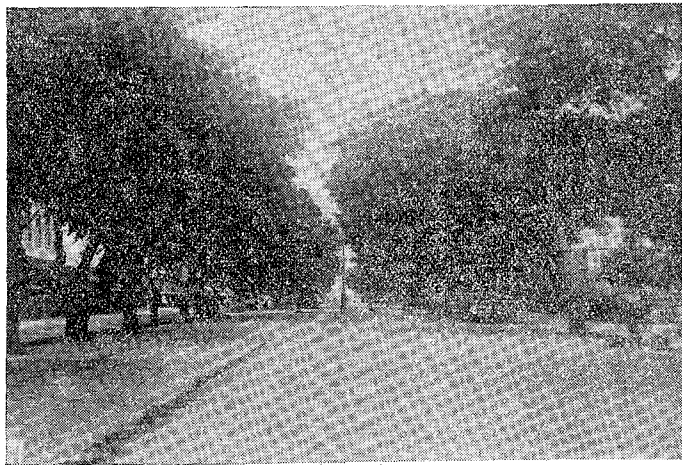
「ローラー」を以て下層より中層各々充分なる轉壓を施した後表面鋪裝をなすのである。

表面鋪裝の要點は「アスファルト・コンクリート」に付ては使用「アスファルト」針入度、輕、重量物通過の個所等に依りて特に研究された工法を探られて居る、使用碎石洗砂の如きは各別に篩別けて「マキシム・デンシティー・カーブ」を作り、此の「カーブ」に餘り隔たらない様に骨材の「パーセン・テージ」を定めて居る。「シートアスファルト」鋪裝は當局の多年の經驗より割出されたる方法にて施行され、其維持の如きは常に自動車「モーター」の排出する油の爲に路面は全く油砥石の如くにして磨滅少く且つ一様の磨滅をなして居ることが窺はれた。

「アスファルト・マカダム」「アスファルト」處理水縮「マカダム」及「ターマカダム」の施行其他は山本君の報告で承知して頂きたい。従つて茲に省略します。

香港の道路鋪裝を通覽するに、總てが實驗の時代を經過して、今は全く實行化して居る事を感じたのである、要之

上海の場合所感を述べたる如く香港の道路鋪裝工事も餘り

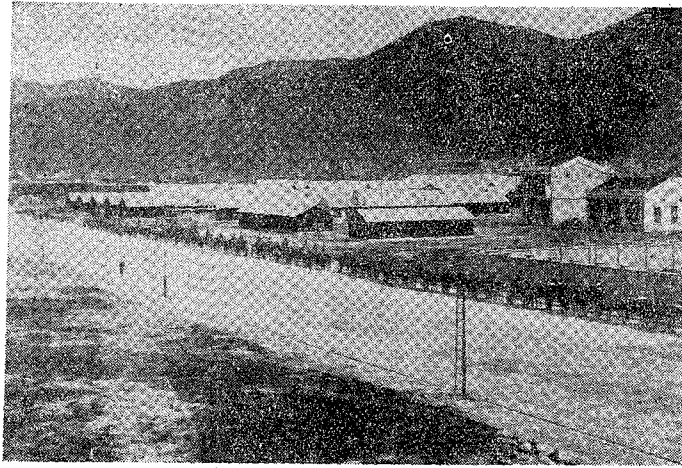


めた。

高價な高級鋪裝より單價の安い簡易鋪裝を盛に採用して、而して維持修繕に最善の努力を傾注して鋪裝の効力を發揮して居ることを認

九 龍 市 街 の 一 部

九 龍



劃整然たることは、狹まぐるしい香港市街の比ではない。

九龍

に就て
少し述

て見た

い。此

の地は

近年埋

立工事

逐次進

行され

全く新

市街地

の觀を

呈し道

路の區

將來も相當發展する素地あるものと考へらる。道路鋪裝の

如きも殆んど「アスファルト」簡易鋪裝ではあるが、全く

氣持能く出來て手入れも行届いて居る。郊外地の方面は矢

張上海の郊外と同様十五間乃至二十間以上の幅員で中央

三、四間丈けを簡易裝鋪を施し、自動車は其上を滑走して

居る、一般の人は兩側の鋪裝せざる區域を歩行して居る。

歐洲へ航行する船舶の總ては皆此の九龍の棧橋に着いて

「ランチ」で香港島へ渡るのである、廣東方面へ汽車で行

くには高き時計塔の建築物九龍停車場からで、其右手は太

句洋行所有の廣大な鐵骨倉庫及埠頭がある其尖端「ブラッ

ク・ヘット・ポイント」附近には船舶信號所及報時信號所を

設けてある、又其北方高地「エルヂン」丘には香港氣象臺

が高く聳へて居り、渡船埠頭に隣接して左方に香港九龍倉

庫會社の宏大なる倉庫幾多の棧橋がある、此の北方に海軍

工廠、水雷艇格納庫、船渠貯炭所等が在り、更に北方には

瓦斯工場貯炭所、石油タンクの各建物市街地に介在して

居る、海上には戎克、舢舨、漁船等の避難所として理想的

の設備が出来て居る。

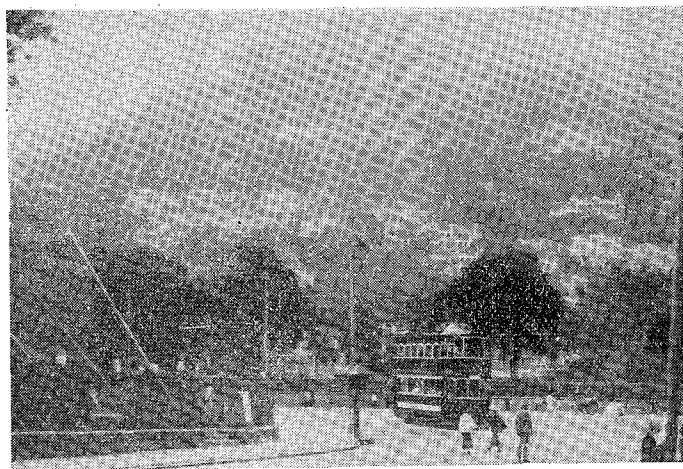
ピーク・ケーブルカー

香港名物の一つとして「ピーク・ケーブルカー」を擧げる、外來客が第一に試乗するのは、自動車を利用せざるものは此の「ケーブルカー」である。此の建設は約四十年前で停留場は「ガーデン・ロード」にあり延長一哩、十五分間で一、三〇〇呎の山頂停留場に達することが出来る。途中崎嶇たる山徑を登り、斷崖絶壁の間に遠くマツチ箱を幾段となく積重ねたる如き莊麗なる洋館を望みつゝ、眼下に展開せる東洋第一の稱ある港灣を俯瞰する風情は此の島より外に求むることの出来ないものと思ふ。

香港の二階電車

香港の二階電車は一寸珍しい。これは市内を縦貫する交通機關で「ヴィクトリア」市の西端堅尼地域から市の東部「ドラ」灣に至る間は復線で、此處より尙東方筲箕灣に

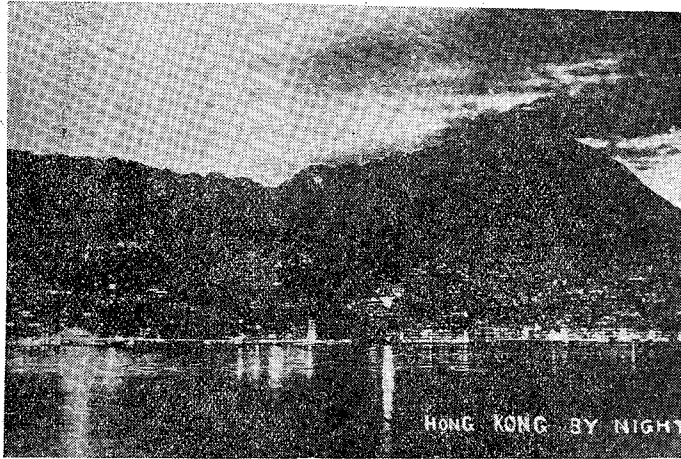
至る市外線は單線である外に「ハッピーバレー」競馬場行



支線とが
ある總延
長十五哩
餘で市内
見物には
此の二階
電車を利
用するの
も感じの
好いもの
である、
二階が一
等下が三
等料金は
市内市外

共各一等が十仙三等五仙誠に安値なものである。

香港の夜景



香港の
夜景は誠
に美しい

殊に對岸
九龍若は
海上より
眺めた所
の「ゼノ
ア」シド

「シー」の
それと共
に世界の
三大夜景
美の一と
讚へられ

るだけ背後の山頂から山腹にかけ又その裾をなす「ヴェキク

トリヤ」街の無数の燈影が燦として海面に映する様は海に
言葉に盡しようもなく全く旅情を惹くものがある。

上水道

今より六十四年前建設されたる水道水源地大潭貯水池の
「ダム」或は濾過地の見學もしたが、大英國が香港建設
當時貢献されたる「エンジニア」諸氏の努力は今尙眼の
あたりに窺はれた。

香港の統治機關

香港殖民地の施政は英國皇帝の任命する總督兼司令長官
の管掌する所にして總督は海軍の中將（直接の統率權はな
い）其下に秘書官一名武官副官一名任命せられ、施政は一
旦行政會議の諮問を経て總督が行ふ、この行政會議の議長
は總督で評議員は主に英國人であるが、支那人二名を加へ
てある。立法機關としては立法會議がある。而して立法評
議員は總督、本國任命のもの及民選の三者より成り立つて

居る。

香港政廳所屬官廳の組織に關しては十七部局あるが、我國の如く官制及分課規程等の統一されたものはない。

香港政廳の豫算と土木費

財政を掌理する財務局長は、本國政府の訓令に基いて所管事務を掌理してゐる。殖民地初期に於ける經費は全部本國政府から支出せられたが一、八五〇年以降は全廢せられた。然るに本港は自由港なる爲關稅の收入がなく、又營業稅も賦課せず主なる歳入は土地稅、燈臺稅、印紙稅、阿片專賣稅、酒稅、煙草稅、免許料等であるが一、九二四年度香港歳出豫算高は二六、七三〇、〇〇〇磅である十七部局ある内土木費は四、八〇〇、〇〇〇磅を算し實に最高を占めて居る、矢張香港も上海と同様如何に土木事業の改善に意を注いで居るかを窺はるる。

自由港としての香港

英國が領有當時の香港は微々たる一漁村に過ず、然かも惡疾猖獗を極め、山野には毒蛇害虫の棲息する全く始末のつかぬ土地であつたが、現今では東西兩洋の要衝と化し、文明都市として施設完備し世界の樂園となつたことは前に述べた通りであるが、斯の如き偉大なる進歩發展を遂げた原因は何れにあるかといふに、英國の殖民政策が當初の軍政を放棄し自由港としての使命を興へたことに起因する。而してその使命を果すべく香港は支那四億の大陸即ち絶大なる消費地を控え、更に世界的商品たる砂糖、米、麻、護謨、錫等の生産地である蘭領印度、佛領印度、支那及比律賓、馬來半島を前後に擁し、自から物資の集散地となるべき素質を完備せる結果に外ならない。茲に於て自由港として一度開放せられ、仲繼貿易が行はるや加速度を加へて發展し今日に於ては船舶の出入、噸數より觀るも又貿易額より觀ても世界最大海港の一として嶄然頭角を現はし東西兩洋の間に重きを置かるゝに至つた。一、九二三年即ち大正十二年中の統計によれば、一ヶ年間に於て七七八、二二二

隻の船舶の總噸數五三、四〇〇萬噸、内外國貿易の船舶
四九、八〇〇隻、此噸數一一、五三三萬噸の出入船舶を算
しその貿易は輸入六一、九五四、四九八磅、輸出六一、三
七二、〇〇〇磅に達して居る。香港なる孤島の消費生産に

よつては如何にしても斯の如き數字は生れない。これは全
く仲繼貿易港としての使命を與へ、その發展に努力した大
英國民の不撓不屈の精神が如何に偉大なる効果を齎したか
を立證してゐる。(元)

ミシガンよりニウヨウクまで

東京市技師 江 守 保 平

古い日記を引出してどこもつかず讀かへしてゐるうちに偶然一九二六年六月頃の頁をめくりあてその夏
米國各洲にわたり自動車旅行をしてゐた時分の記事が出てきた。段々讀んでゆくうちに次第に當時の氣分に
引もどされ色々な思出が次から次へと走馬燈の様に浮んで来る。恰度その時分私はアナバーでミシガン大學
のフランチャード教授のもとに世話になつてゐたがかねてから氏に勧められるままにその夏を道路行脚に費
したわけである。アメリカにわたつてからその時はもう可成りになつてゐたがその年自動車で旅行に出て始
めてアメリカの所謂 Motor Age をまのあたり見せられその繁榮振りに驚かされてしまつた。實に夏のハイ
ウエイは現代アメリカの縮圖を見てゐる様な氣がする。少しく舊聞ではあるが此旅行記のうち面白そうな一
部分を引抜いてここにのせてみることにする。

かねてから東部地方の道路状態を視察しやうと考へてゐる たが、此夏にその期を得る事が出来た。それに恰度六月末